

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月1日

事業所名 コペルプラス 信濃町教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 5 | 1 | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | 0 | ・バリアフリー化されているが段差のある個所は十分に安全に配慮できている。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 5 | 1 | ・空気清浄機や窓開けで喚起することを実施している。お子様に合わせた機の配置を考慮している。 ・毎回消毒や掃除をしっかりと実施している。 | ・教室に窓がないため、感染症流行時には一回ずつの療育終了後に随時消毒を行っている。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 6 | 0 | ・教室運営に関して出来る限り全職員と共有し、運営参加改良の意識を持ってもらっている。 | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | 0 | ・保護者様から頂いたお困り事などは職員間で共有し、次回以降の担当者でも相談に応じられるよう協力している。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | 0 | | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 1 | ・保護者様から頂いたお困り事などは職員間で共有し、次回以降の担当者でも相談に応じられるよう協力している。 | ・今後は更なる知識向上に向けて研修担当などをローテーションして定期的開催していこうと考えている。 |
| 適切な | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 6 | 0 | ・お子様の成長に応じ、環境調整・課題のレベルの更新を随時行っている。 | |

| | | | | | | |
|-------|---|--|---|---|--|--|
| 支援の提供 | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 0 | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | 0 | ・お子様に合わせた具体的な項目で目標設定している。 カンファレンスでは指導員が意見を出しやすい環境であり、事業所内で情報共有している。 | |

| | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|--|---|---|
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 6 | 0 | 計画書を個別ファイルの見やすい所に挟んでいるので定期的に確認しやすい仕組みとなっている。 | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 0 | ・毎回の療育で気が付いたことを各指導員が全員に共有し、活動プログラムに盛り込んでいる。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 0 | プログラムは毎月変わるが一連の流れは固定化されているものの、お子様の課題に合わせて提示方法の工夫等で調整している。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している | 6 | 0 | | 個別療育と集団療育の組み合わせはお子様達の成長に大きな効果が感じられているので、必要に応じて両方のご利用を提案させて頂こうと考えています。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | 0 | ・集団療育や個別療育対策が必要なお子様に対しては教室全体で確認している。 ・カンファレンス記録などにより、職員間の共有ははっきりできている。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 1 | シフト制の為、全員職員では行えないが困った事はすぐに相談し合っ、ノートを使用し全員に共有している。 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 記録に関しては徹底して行い、その内容から支援の検証・改善を行っている。 | |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | 半年後のモニタリング以外にもご来所時にお声掛けお話し聞く他、日々の療育の最後 | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|---|-----|-----|-------------------------------------|--|
| | | | | | にフィードバックの時間が設けられている。 | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 5 | 1 | | 子育てに関するご相談にも対応が出来るように情報の収集や研修会などを行っていきたく考えている。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 非該当 | 非該当 | | 医療的ケアが必要なお子様は支援していません。 |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 非該当 | 非該当 | 協力医療機関を設置している。 | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 0 | ご希望がある場合、親御様を仲介として書面での情報共有を主に行っている。 | |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | 0 | ご希望がある場合、親御様を仲介として書面での情報共有を主に行っている。 | |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 0 | 主に管理者が定期的に参加している。 | |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 非該当 | 非該当 | | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 2 | 4 | | 開催情報を得た際に今後参加していこうと考えている。 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | お子様の様子を毎回の療育の際保護者様に伺い、共有している。 | |
| | ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 3 | 3 | 毎回の療育を親御様にご見学いただき、ご様子を記録していただいている。療育後のフィードバックやご家庭でのお困 | 運営母体からの支援プログラムの提案はあるが、施設内での希望の声があまり聞かれていないので、 |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|---|
| | | | | | り事のご相談は都度承っている。 | 今後ご希望等に応じて開催していこうと考えている。 |
| 保護者への説明責任等 | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | | |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 6 | 0 | | |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | 保護者様からの悩み事や解決策についてはその内容により、一旦お預かりして全職員で話し合い最善策案を提案するよう努めている。 管理者から親御様に定期的に声掛けするようにしている。 | |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 6 | | 具体的な開催はないが、毎回の療育を親御様に見て頂いているので、集団療育の際には親御様同士で情報交換など行うこともあると聞いている。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | 教室内に掲示したり、親御様に教室LINEをご登録いただき情報を発信している。 | |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | 0 | | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | | |
| | ④① | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 6 | | 個人情報等の観点からも、事業所の行事は利用者様間のみで行っており、地域には発信していない。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 6 | 0 | | 職員間で定期的に確認している。今後は災害発生を想定し、療育の中にも組み込んでいこうと検討している。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 0 | | |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 6 | 0 | | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 1 | | 医師からの指示書を受け取ることはないが、親御様から事前に禁忌等の情報をいただいている。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 1 | | 事例集の作成は他の教室含めた会社全体の事例として常に閲覧・共有できるようになっている。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 0 | | |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 6 | 0 | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。